



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順

コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 奥田 崇雄

TEL 0584-89-8181

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	46,972	△2.1	△1,716	—	△2,057	—	△2,391	—
26年3月期第3四半期	47,986	21.4	763	△11.7	604	△17.2	817	111.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △2,147百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 2,538百万円 (281.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△272.76	—
26年3月期第3四半期	84.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	56,604	10,004	10.9
26年3月期	54,303	11,889	14.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,156百万円 26年3月期 7,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	△3.1	△1,400	—	△2,100	—	△2,500	—	△285.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,771,000 株	26年3月期	9,771,000 株
27年3月期3Q	1,004,922 株	26年3月期	1,004,855 株
27年3月期3Q	8,766,136 株	26年3月期3Q	9,726,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P31「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国ではリーマン危機後の構造調整の更なる進展を背景に着実に回復をしており、ASEAN地域では景気は総じてやや減速感が見られるほか、中国では過剰生産能力の調整に加え、信用の抑制や不動産市場の減速などが下押し要因となり、景気の拡大テンポは緩やかになっております。日本では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響が残っているものの、全体としては緩やかな回復基調が続いております。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では景気の改善に伴い引き続き堅調な需要を維持しているものの、タイでは政情不安が内需や輸出に悪影響を及ぼしているほか、中国では景気の減速や自動車の購入規制を検討する都市が増え、購買意欲の低下が懸念されております。日本では消費税増税による駆け込み需要の反動減からの回復に時間を要しております。

このような状況のもと、当社グループは、当連結会計年度を初年度とする第6次中期経営計画に基づき、徹底した業務効率化による国内収益の改善をはじめとする様々な施策に取組み、国内事業の自主自立やグローバルでの競争力強化に努めてまいりましたが、タイ及びインドアナにおいて業績が悪化したため、減収減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は46,972百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業損失は1,716百万円（前年同四半期は763百万円の営業利益）、経常損失は2,057百万円（前年同四半期は604百万円の経常利益）、四半期純損失は2,391百万円（前年同四半期は817百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、主要顧客の減産等の影響を受けたことにより売上高は減少したものの、人員の適正配置を含めた生産効率化や製造原価低減に向けた継続的な取組みなどにより、損失は減少いたしました。

以上の結果、売上高は11,172百万円（前年同四半期比4.0%減）、経常損失は123百万円（前年同四半期は584百万円の経常損失）となりました。

(タイ)

タイにおいては、政情不安による国内消費の冷え込みや近隣諸国における完成車の現地生産拡大に伴う輸出減少の影響を受けたほか、売上減に伴う償却費及び労務費などの固定費の負担が増加したことにより、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は6,229百万円（前年同四半期比39.0%減）、経常損失は1,149百万円（前年同四半期は1,057百万円の経常利益）となりました。

(広州)

広州においては、自動車市場の競争激化に伴う主要顧客の販売不振により、生産計画に多少の変動はあったものの、全体としては生産活動が好調に推移し、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は12,353百万円（前年同四半期比33.4%増）、経常利益は333百万円（前年同四半期比109.3%増）となりました。

(武漢)

武漢においては、広州と同様に主要顧客の生産計画に多少の変動がある中、全体としては生産活動が堅調に推移し、売上高は増加したものの、労務費の増加による製造原価高などにより、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は4,409百万円（前年同四半期比12.7%増）、経常利益は214百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、主要顧客において生産機種構成について変動があったほか、品質コスト増加に伴う製造原価高などにより、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は12,775百万円（前年同四半期比2.2%減）、経常損失は961百万円（前年同四半期は46百万円の経常損失）となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、消費税引き上げによる駆け込み需要の反動減の影響が残る中、積極的な拡販活動の展開により、売上高は増加したものの、償却費及び労務費などの固定費が増加したことにより利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は2,331百万円（前年同四半期比2.2%増）、経常損失は14百万円（前年同四半期は4百万円の経常利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、56,604百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,300百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が805百万円減少、受取手形及び売掛金が976百万円減少、仕掛品が493百万円減少、有形固定資産が4,963百万円増加したことが要因であります。

負債総額は46,599百万円となり、前連結会計年度末と比較し、4,185百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,911百万円減少、短期借入金が3,682百万円増加、長期借入金が2,814百万円増加、未払法人税等が432百万円減少したことが要因であります。

純資産は10,004百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,884百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が2,000百万円減少、少数株主持分が264百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
(税金費用の計算)	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
(退職給付に関する会計基準等の適用)	<p>「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法をイールドカーブ直接アプローチへ変更いたしました。</p> <p>退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。</p> <p>この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が83百万円増加及び退職給付に係る負債が353百万円減少し、利益剰余金が407百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ9百万円減少しております。</p>

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,486	1,681
受取手形及び売掛金	10,103	9,127
商品及び製品	494	554
仕掛品	2,395	1,901
原材料及び貯蔵品	1,639	1,503
その他	2,024	1,776
貸倒引当金	△12	△19
流動資産合計	19,131	16,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,739	8,947
機械装置及び運搬具(純額)	7,294	9,562
工具、器具及び備品(純額)	6,544	8,703
土地	2,164	2,198
リース資産(純額)	1,251	1,973
建設仮勘定	9,001	6,575
有形固定資産合計	32,995	37,959
無形固定資産	246	236
投資その他の資産		
その他	1,946	1,900
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,929	1,883
固定資産合計	35,172	40,079
資産合計	54,303	56,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,062	7,151
短期借入金	14,573	18,255
リース債務	336	642
未払法人税等	457	25
賞与引当金	223	224
その他	4,017	3,971
流動負債合計	28,671	30,270
固定負債		
長期借入金	10,690	13,504
リース債務	1,030	1,121
退職給付に係る負債	1,397	1,080
資産除去債務	86	87
負ののれん	2	—
その他	537	535
固定負債合計	13,743	16,329
負債合計	42,414	46,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,668	2,667
自己株式	△626	△626
株主資本合計	6,015	4,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	467
為替換算調整勘定	1,620	1,945
退職給付に係る調整累計額	△323	△270
その他の包括利益累計額合計	1,761	2,142
少数株主持分	4,112	3,847
純資産合計	11,889	10,004
負債純資産合計	54,303	56,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	47,986	46,972
売上原価	43,790	45,379
売上総利益	4,196	1,593
販売費及び一般管理費	3,433	3,309
営業利益又は営業損失(△)	763	△1,716
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	25	19
為替差益	189	126
その他	47	83
営業外収益合計	268	236
営業外費用		
支払利息	387	520
その他	39	57
営業外費用合計	426	578
経常利益又は経常損失(△)	604	△2,057
特別利益		
固定資産売却益	54	40
投資有価証券売却益	505	—
その他	40	32
特別利益合計	600	72
特別損失		
固定資産売却損	9	14
その他	—	40
特別損失合計	9	55
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	1,195	△2,040
法人税等	145	586
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	1,050	△2,627
少数株主利益又は少数株主損失(△)	233	△236
四半期純利益又は四半期純損失(△)	817	△2,391

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,050	△2,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	2
為替換算調整勘定	1,612	425
退職給付に係る調整額	—	52
その他の包括利益合計	1,488	480
四半期包括利益	2,538	△2,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,867	△2,010
少数株主に係る四半期包括利益	671	△136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,781	10,182	8,936	3,749	13,063	2,273	47,986
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,857	30	326	162	0	7	2,384
計	11,639	10,213	9,262	3,911	13,063	2,281	50,371
セグメント利益又は損失(△)	△584	1,057	159	226	△46	4	815

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	815
セグメント間取引消去	△36
子会社配当金	△169
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の経常利益	604

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,599	6,191	11,879	4,198	12,775	2,327	46,972
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,572	38	473	210	0	3	2,298
計	11,172	6,229	12,353	4,409	12,775	2,331	49,271
セグメント利益又は損失(△)	△123	△1,149	333	214	△961	△14	△1,701

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,701
セグメント間取引消去	△52
子会社配当金	△298
その他の調整額	△5
四半期連結損益計算書の経常損失	△2,057